



## 今の特集

## 糖尿病と歯周病の関係性

今月は、**お口の健康と全身との関係の中で糖尿病について**ご説明します。

是非、最後まで読み進めて頂ければと思います。内容が濃いので! 今月、来月の2回に渡ってお伝え致します。

### 糖尿病とは?

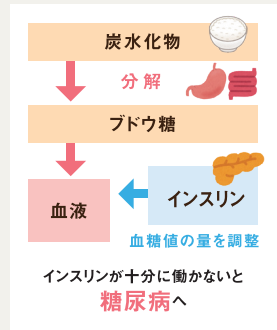
糖尿病は生活習慣病の代表的な病気です。

「健康的な生活をしていればかからず、怠惰な生活をすれば糖尿病になってしまう」という情報も聞こえてきますが、そもそも糖尿病とは何が問題なのでしょう?

人間は、炭水化物などの糖質を身体中に運ぶためにブドウ糖に変化させ、水に溶ける状態にして身体中を巡らせます。

ところが、人間は、どのくらいのブドウ糖が血液に溶け込んでいるかを考えもせず、目の前のを美味しく食べてしまうわけです。沢山のブドウ糖が血液に溶け込むと、血管を傷つけてしまい、**心臓病や、失明などを引き起こしてしまう**ので、体としては、血液中を流れるブドウ糖(血糖)の量を食事の有無や内容にとらわれず、一定にしたいのです。そこで、**膵(すい)臓からインスリンを放出し、ちょうどいい血糖値に保とうとします**。しかし、インスリンが十分に働かないために血糖が増えてしまう病気、それが**糖尿病**です。

※インスリンは膵臓から出るホルモンであり、血糖を一定の範囲におさめる働きを担っています。



### インスリンが働かない理由

血糖は、細胞に取り込まれることでエネルギーになります。ところが、細胞は何でも受け入れてくれるわけではありません。**外敵が入ってこないように皆さんの自宅と同じく鍵をかけているのです**。

インスリンは、血糖をうまく細胞に取り込むための鍵です。「血管の中にいないで、細胞の中に入ってね!」と血糖にインスリンという鍵が支給されていることで血液中を流れるブドウ糖を安定化させようとしています。

ところが、インスリンが十分に働かず血糖をうまく細胞に取り込めなくなると、**血液中に糖があふれてしまいます**。

その理由として2つの原因があります。

理由

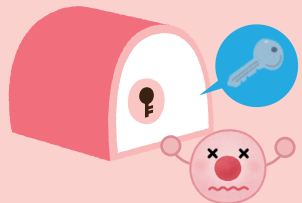
1

#### インスリン分泌低下

膵臓機能の低下により、十分なインスリン(鍵)を作れなくなってしまう状態。

細胞のドアを開けるための鍵が不足しているので糖が中に入らず、血液にあふれてしまいます。

(鍵が足りないためドアが開かないパターン)



理由

2

## インスリン抵抗性

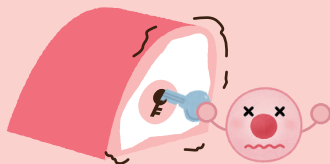
インスリンは十分な量が作られているけれども、効果を発揮できない状態。

運動不足や食べ過ぎが原因で肥満になるとインスリンが働きにくくなります。

鍵であるインスリンがたくさんあっても、細胞であるドアの故障で開けることができません。

この場合も、血液中に糖があふれてしまいます。

(鍵はあるがドアが壊れてしまっているパターン)



糖尿病ではこの2つが影響して、血糖値が高くなってしまいます。

### 「鍵を増やす? ドアを直す? いや、ドアを壊している??」

鍵が少なければ鍵を増やすという選択肢があります。これがインスリン注射です。

ところが、ドアが壊れている場合は、鍵(インスリン注射)を増やしても効果が出にくいことがわかります。

ドアは細胞が代謝すれば直るのですが、それでもドアが壊れているのは、誰かがドアを壊しているということになります。

今月はここまでとなります。

次回、糖尿病と歯周病の関係について深掘りしていきます。



## 糖尿病治療の照会制度

シュンデンタルクリニックでは糖尿病治療を行なっている医師と連携するため、患者さまより「糖尿病の申告」があった場合、診療情報の照会をお願いすることがございます。

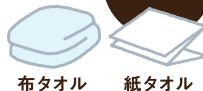
歯周病と糖尿病が無関係ではないことがわかった現在、治療のタッグを組むべく連携することが、より良い治療を提供する前提になっているためです。

問診の際に、糖尿病についてお伺いすることがございます。御承諾いただければと存じます。



### お知らせ

現在、治療の際に、患者さまのお顔を覆うのにタオルを使っておりますが、紙製もご用意いたしました。タオルの洗剤や柔軟剤の匂いが気になる方は、遠慮なく歯科衛生士までお申し付けください。



ご用意  
いたしました!

布タオル

紙タオル

## シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>